

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 空欄 I Ⅰ III のそれぞれに入る最も適当な語の組み合わせを、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | |
|---|------|-------|--------|---|------|-------|--------|
| ア | I 否定 | II 肯定 | III 否定 | イ | I 肯定 | II 否定 | III 否定 |
| ウ | I 否定 | II 否定 | III 肯定 | エ | I 否定 | II 肯定 | III 肯定 |
| オ | I 肯定 | II 否定 | III 肯定 | | | | |

問3 空欄 A に入る最も適当なものを、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ア | そして | イ | しかし | ウ | だから | エ | つまり | オ | 例えば |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|

問4 文中の小説家・森鷗外の代表作を、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|----|---|-----|---|----|
| ア | 五重塔 | イ | 武蔵野 | ウ | 浮雲 | エ | 高瀬舟 | オ | 草枕 |
|---|-----|---|-----|---|----|---|-----|---|----|

問5 傍線部1「『子は親の鏡』」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問6 傍線部2「友達同士の分人化が正常に起きている証拠だ。」とあるが、なぜそのように言えるのか、説明せよ。

問7 傍線部3「不毛な『本当の自分』探し」とあるが、「本当の自分」を探すがなぜ不毛なのか、説明せよ。

問8 傍線部4「その逆説」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問1 傍線部アの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 二重傍線部「のつびきならない」の意味を答えよ。

問3 空欄 I・II に入る最も適切な語を、次のア～キの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

ア だから イ ところで ウ すると エ むしろ オ しかし・カ つまり キ 例えば

問4 傍線部1「熱情というのは比喩ではない。」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問5 傍線部2「自分のなかでうまく整理できていない事象」とあるが、筆者が父との関わりの中で抱いていたこのことに

当てはまらない事象は何か。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 私が父に本を買うのを止めてはどうかと提案しているのに、父はそれに対して理由にもならないことを話してくること。

イ いくら本が好きだとしても、父が家計に余裕がないことを知っていながら読みもしない本をじつに多く買っていること。

ウ 父と同じ状況に置かれていたなら自分も父と同じような行動を取るのではないかと思いつつ、父の説得をしていること。

エ 年老いた父は自由に暮らせばよいと思う一方で、父も仕送りしている息子のことを少しは理解して欲しいと思っていること。

問6 傍線部3「そうした一語」とあるが、それは何を指すのか。文中の語を使って答えよ。

問7 傍線部4「このとき経験した心持ち」とあるが、それはどういう心持ちか、説明せよ。

問8 傍線部5「生きている死者である父」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

国語

【解答例】

第1問

- 問1 ア むしょう イ 賛美 ウ もやく エ まんざら オ 凝(つて)
- 問2 ウ
- 問3 イ
- 問4 エ
- 問5 子供の様子から普段の親の子供に対する接し方を伺い知ることができるということ。
- 問6 幼稚園には様々な環境で育ってきた友達があり、今まで家庭では使っていなかった汚い言葉を用いて話すことも、その友達との分人によつてうまくコミュニケーションを取っている一つの証と考えることができるから。
- 問7 人びとが現実の人間関係において分人を作り出す中で、誰と対応しても不変な「本当の自分」を探すことは、現実から大きく乖離して虚しく意味のないことだから。
- 問8 自分を愛するためには、他者の存在が不可欠だというのは一見矛盾しているように感じられるが、自分を肯定するための入口である分人は、他者との相互作用で作りに出されるため、他者は自分を愛するために非常に重要な存在であるということ。

【採点の観点】

- 問5 「鏡Ⅱ自らを映すもの」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問6 「友達同士の分人化」の意味を本文から読み取り、解答に反映させているか。
- 問7 「不毛Ⅱ何の成果も得られないこと」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問8 「逆説Ⅱ一見真理に反するよう見えて、実は一面の真理を表していること」の意味を考え、解答に反映させているか。

第2問

- 問1 ア 購入 イ 難航 ウ 負担 エ つい(やして) オ いとな(み)
- 問2 どうにもならない
- 問3 I オ II ウ
- 問4 父が本を読むことに熱情を持つばかりでなく、本が読めなくなった後も本を買い続けることで本への熱情を持ち続けたということ。
- 問5 エ
- 問6 人間の人生を変えるに十分な力を秘めている一つの言葉。
- 問7 本好きな父は、本を読むだけでなく読めなくなった後も、その本をいつか読みたいと願いながら読むことができな本存在から影響を受け、読めない本との間で無言の対話を続けていた。そして、それら本との関わり全てを父は確かに幸せと感じていたという心持ち。
- 問8 父は既にこの世にいないが、私の中で文学の師のひとりとして生き続けているということ。

【採点の観点】

- 問4 「比喩」が本文でどのような意味で使われているかを読み取り、解答に反映させているか。
- 問6 傍線部の前に書かれている指示語の内容を読み取り、解答に反映させているか。
- 問7 父の遺した蔵書の前で福原麟太郎の言葉を思い出した時の筆者の心持ちを読み取り、解答に反映させているか。
- 問8 既に「死者」となった父が筆者の中で生き続けているとはどういうことかを考え、解答に反映させているか。

福井工業大学 令和7年度 スカラシップ選抜

国語

【出題意図】

第1問

評論文を出題し、漢字の読み書き、語句や表現の正しい意味理解、文章の内容や筆者の意図の正確な読み取りなどについて、問うものである。

第2問

随筆文を出題し、漢字の読み書き、語句や表現の正しい意味理解、文章の内容や筆者の意図の正確な読み取りなどについて、問うものである。